R6年度 全国学力・学習状況調査 結果分析及び改善計画（国語科）

1 調査結果（正答率）

本校平均	69
全国平均	67.7
広島県平均	69
東広島市平均	73

2 重点課題

【課題1】（2－（1））

集めた情報の共通点を考えることに課題がある。

【課題2】（3四）

「読書を通して、自分の心にひびく言葉や今までになかった考えを見つけることができる」という読書の意義を捉えることに課題がある。

【課題3】（3二（1））

登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることに課題がある。

3 重点課題に対応する改善方策

【課題1】

- ・書く目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、複数の語句を丸や四角で囲んだり、語句と語句を線でつないだりして情報を整理することで、伝えたいことが明確になることを児童に実感させる。また、考えを明確にすることがなかなかできない児童には、友達の整理の仕方を参考にして、考えるなどの手立てを講じる。
- ・目的や文章の種類などに応じた思考ツールを活用する経験をさせ、様々な整理の仕方を学ばせる。また、思考ツールを紹介した教室掲示をする。
- ・一つの資料だけではなく、複数の資料から考える学習活動を帯タイムに取り入れる。

【課題2】

- ・読書活動を継続し、読書に親しむ。
- ・読書ボランティアによる読み聞かせの感想を伝えたり、自身が行った読書活動の感想を書き交流する学習場면을意図的に設定したりして、読書から何を学んだのかを明確にさせる。

【課題3】

- ・語彙を増やすために、初読の読み取りや様々な分野の読書を行う。
- ・登場人物の心情を捉える際に、挿絵、場面と場面のつながり、行動や会話、描写を基に捉えるなど、学年に応じた指導を系統的に行うことを徹底する。
- ・前後の文脈や表現から考える機会を多くもてるよう、帯タイムの読み取り問題に取り組みさせる。

R6年度 全国学力・学習状況調査 結果分析及び改善計画（算数科）

1 調査結果（正答率）

本校平均	68
全国平均	63.4
広島県平均	64
東広島市平均	67

2 重点課題

【課題1】（4（3））

速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることや、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりすることに課題がある。

【課題2】（3（4））

立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察することに課題がある。

【課題3】（2（1））

問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察することに課題がある。

3 重点課題に対応する改善方策

【課題1】

- ・説明に必要な条件（今回でいうと同距離ということと、時間の差）を日頃の授業の中で線を引くなどして示す。
- ・算数用語（秒速・分速・時速等）について掲示物を用意するなどして理解を深める。

【課題2】

- ・問題文中の言葉や表現に着目させ、わかっていることや、聞かれていることは何であるのかを明確にし、情報を整理する。
- ・算数用語（「底面」や「側面」）の意味を理解させ、使えるようにさせる。
- ・具体物を見たり、触ったりする経験をさせる。

【課題3】

- ・授業の中で図を書いたり、活用したりしながら思考させ、数と結び付ける活動を行う。
- ・数があらかず意味を明確にさせる。
- ・式のみではなく、算数用語を使って筋道立てて説明したり、ノートに書いて伝えたりする時間を多く設定する。